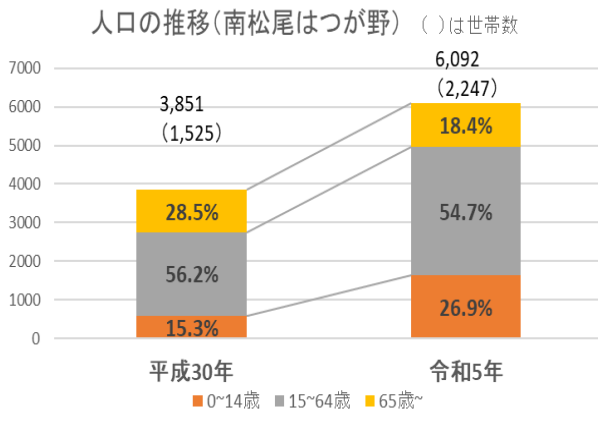


南松尾はつが野校区

地域別人口



基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	9
	校区社協役員数	21
	校区社協ボランティア数	43
	民生委員・児童委員数	9
	老人クラブ会員数	1001
	いきいきいずみ体操数	1
	おたがいさまサポーター数	59
	高齢者見守り協力事業所数	14
	子ども食堂(子どもの居場所)数	0
	自主防災組織の有無	有
対象者数	ふれあい訪問利用者数	3
	誕生日訪問利用者数	52
	避難行動要支援者登録数	32

ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.住民同士のまとまりや助け合いが多いまち	
2.みんなが集まれるイベントやお祭りがあるまち	
2.買物が便利なまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.いつでも自由にボールなどで遊べる場所	1.思いっきり遊べる広い公園や広場
2.高齢者の経験や強みを生かせる場所	2.雨の日でも遊べる場所
2.障がい児やその保護者を支援する居場所	3.いろいろな遊び道具があって自由に遊べるしせつ
2.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.高齢者の地域での見守り訪問	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
2.子どもの登下校の見守り	2.赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする
2.地域や世代を問わない誰もが食を通して集える場づくり	3.自然や環境の保ご活動をする
3.災害ボランティア	

地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ 自然豊かな古くからのまちである南松尾と新興住宅地であるはつが野がそれぞれの強みを活かし、手を取り、うまく融合した地域づくりを進めていきたい。策定

南松尾とはつが野が「知り合う・学ぶ、繋がる」

私たちの重点取り組み

重点取り組み①

【目 標】 「災害時助け合い」の仕組みを整え、生きのびる力の強いまちづくり

【具体的な取り組み】

- 全町に自主防災組織を立ち上げ、災害時助け合い活動が行えるように事前に役割を決め依頼しておく
- 身の回りの物を災害時に役立たせる方法を学び、日頃からの備え力を身に付ける
- みんなが参加したいと思える楽しいイベント等も取り入れた現実味のある防災訓練を実施する

重点取り組み②

【目 標】 地域全体で子育て世代を応援するまちづくり

【具体的な取り組み】

- 想いを集め、はつが野（4丁目～6丁目）の中に子育て世代が集い、地域住民と交流できる居場所づくりを行う
- 学校と地域との連携を深め、子供の成長を共に支え合う仕組みづくりについての話し合いを始める
- いきいきサロンでの子どもたちとの交流を企画し、世代間でのつながりを深める
-

重点取り組み③

【目 的】 南松尾とはつが野が校区としての交流を深め、校区としての繋がり

【具体的な取り組み】

- はつが野住民を南松尾で行うだんじり祭り等の恒例行事への参加を呼びかけ、歴史の伝承と活動の継続を行う
- 自然豊かな南松尾の強みを活かし、校区に住む親子やおとしよりが参加できる体験型イベントを行い、交流を深める
- 協議の場等の話し合いの場で、南松尾とはつが野それぞれの強みや困りごとを共有し、協議して解決する関係・体制づくりを行う

